

海星 1月

薩摩川内市立海星中学校
平成30年1月25日発行

『初心』と『自己実現力』

校長 瀬上 盛人

明けましておめでとうございます

初日の出、初詣、初笑い、初夢、書き初め、初商い…
2018年、平成30年がスタートしました。いろんな「初」が続きます。今年がどんな年になるか楽しみです。鹿児島県のキャッチコピーが「どんどん鹿児島」に変わりました。今年も海星中の良さを「どんどん」アピールしていきたいと思います。



2018.1.1 紫尾山頂から見る初日の出

私ごとですが、ここ3年くらい、初日の出を拝みに北薩の最高峰である紫尾山に登っています。今年は、曇っていて、「初日の出はきびしいかもな～」と思っていましたが、日の出の時間になると神秘的な真っ赤な太陽が昇ってきました。なるほど、信じて、最後まで諦めないことが大切なんだな。今年も、きっとこんな年なんだな。いや、「自分を信じ、仲間を信じ、最後まで全力で取り組むそんな年にしなければならない」と思いを馳せることでした。

皆さんは、この一年をどんな年にしたい、どんなことにチャレンジしたいと考えていますか？中国の古典<詩経>に『初めあらざること靡(な)く、克(よ)く終わりあること鮮(すく)なし』という言葉があります。誰でも、やり始めはうまくいくが、最後まで持続させるものは少ないという意味です。私もこのような経験を何回も体験しているので、胸が痛い言葉です。何か新しいことを始めるときは、成功させようと、緊張感をみなぎらせて取り組むので成功する確率は高くなります。しかし、軌道に乗るにつれて、馴れが生じ、徐々に緊張感がゆるんでしまい、上手くいかない、続かないとなるのです。世の中には、このような事例は多いのではないのでしょうか。そうならないためには、次のことに気をつけることが大切だと思います。まず、最初の緊張感を持続させようと心がけること。次に、好調なときこそいっそう気を引き締めてかかること。つまり、「初心忘るべからず」ということです。忘れかけたら『初心』に戻り、今年が終わるときには、達成感を実感できる、そんな一年にしていきたいものです。

さて、3学期は、「1月は“行く”、2月は“逃げる”、3月は“去る”」というように、あっという間に過ぎていきます。3年生は、私立高校の入試も始まりました。そして、いよいよ島立ちを迎えます。そこで、自立について少し考えてみたいと思います。いったい自立とは何でしょう。本当に大切な自立とは、自分がやりたいことを、自分で見つけて、自分でどんどんやっていくということ、つまり、自

己実現力のことなのではないか考えます。「自分がやりたいこと」を「自分で見つける」のです。自分の人生を自分で展開するという事です。それができる人が本当の自立した人間ではないでしょうか。このことは、急にできるものではありません。家庭や地域、そして、学校生活の中で、日頃から意識して自己決定の場を多く設定することで、自己実現力をしっかりと身に付けさせていきたいと思ひます。

入学説明会

1月12日(金)に、中学1年生が、これから入学する長浜小・鹿島小の5・6年生を対象に学校の紹介をしました。生徒は学習面や生活面をはじめ、学校行事や部活動について、写真やクイズを使って説明しました。小学生からは職場体験や部活動についての質問があり、中学校への関心の高さを感ずるところでした。その後、5年生は理科の授業を体験し、6年生とその保護者は学校の概要や入学前に準備するもの等の説明を聞きました。これから入学する6年生の入学を生徒・職員一同楽しみにしています。



普通救命講習

1月13日(土)、2年生が万が一のときに、救急隊が到着するまでの間に行う救命処置を学びました。講師に下甌分駐所隊員の方をお招きし、人体モデルを使っての心肺蘇生法やAEDの実習等を行いました。生徒は互いに協力しながら、真剣な態度で臨んでいました。今日の講習会が万が一のとき、生命を救うために大きく役立つものになることでしょう。～生徒の感想より～



私は2回目の講習会でした。これから先、どこでどんなことが起こるか分からないので、今日学習したことはしっかり自分自身のものにしたいです。

芸術鑑賞会

1月18日(木)にリコーダー奏者の徳田豊志先生とジャズピアニストの日吉直行先生をお招きし、ピアノ&リコーダーライブを実施しました。



「見上げてごらん夜の星を」「君をのせて」「千の風になって」等の聴き馴染みのある曲から演奏が始まり、生徒は開始からすっかりお二人の演奏に釘付けになっていました。また、指が届かないと思われるほどの大きなリ

コーダーや手のひらにすっぽり隠れてしまうほどの小さなリコーダーも紹介されました。

ピアノ演奏では生徒全員がピアノを囲み、間近で演奏を聴きました。そこで鍵盤だけでなく、その弦をも弾く、これまで見たことのない演奏技法に驚き、そこから奏でられる曲を目と耳でその音楽を楽しんでいました。



また、即興でジャズ風にアレンジされた海星中の校歌も披露されました。生徒にとって音楽を生で体感し、そのジャンルの広さを知る良い機会となりました。

～生徒の感想より～

○ リコーダーの音や音楽を聴いて「こんなきれいな音が出るんだ」と感動しました。また、ピアノでは鍵盤だけでなく、弦を使って演奏できるということにも驚きました。

○ 今日のこの時間をとても楽しみにしていました。生で演奏を聴けて本当に楽しかった。もっともっと音楽が好きになりました。次は一緒に演奏したいです。

春の祭典

1月20日(土)に県中学校音楽コンクール「春の祭典」に出場しました。

中村教諭(指揮)、池端教諭(伴奏)そして、1・2年生(8名)と福田教諭の総勢11名で海星中の「地球星歌」を身体全身を使って、ホールいっぱいに響かせました。生徒は限られた時間の中、精一杯練習し、3年生からもアドバイスを聞きながら練習しました。結果は銅賞でしたが、生徒も教師も賞以上にたくさんのことを学び、会場でしか得ることのできない自分の宝を持ち帰ってきたようでした。応援に行かれた保護者からは「みんなの歌声に感動し、涙がこぼれてきました」と感想をいただきました。



～審査員講評～

「くちびるに歌を」って映画を観たことありますか？なんだか皆さんの歌声を聴いていてジーンとしながら、その映画を思い出していました。一人一人がそれぞれの表現でしっかり歌っていること、そして先生の指揮のもと美しいピアノの心ひとつに歌うこと、素晴らしい！！

月	日	曜	主な行事
2	8	木	スクールカウンセラー来校
	9	金	漢字検定
	19	月	PTA理事会
	21	水	学年末テスト(～23日)
	28	水	郷土教育講演会・立志式・学級PTA